

懐風館高校 カワバタモロコ保護活動報告 2016

カワバタモロコ里親講習会に先立って

生物選択生徒による個体数の推定観察 (2016 4月19日・26日) を実施しました。



班	1	2	3	4	5	計 Y ₁
標識個体数	24	14	11	16	2	71

班	1	2	3	4	計
再捕獲数	13	11	11	16	X ₂ =45
標識個体数	8	2	7	4	Y ₂ =21

全個体数 X₁ : Y₁ (71) = X₂ (45) : Y₂ (21) → 全個体数 X₁ = 152, 14

本校中庭の池のカワバタモロコは、おおよそ150匹と推定される。

あたらし

新池の生息生物調査 2015、6、22 (晴)

捕獲生物はカワバタモロコの天敵であるザリガニ1匹、特定外来生物のブルーギル2匹です。トラップにかかったザリガニは、ブルーギルを右手に挟み食べているところでした。

捕獲量は少なかったが、新池でのカワバタモロコの保護繁殖に際しては、徹底的な外来魚の駆除が必要であることが今回の調査で分かった。



あたらし

新池の池干しに参加 2015、11、3

前日の雨のため、池の水位が下がらず2日の夕方から当日のお昼まで2台のポンプでの水抜き作業が続き、4時間遅れで池干し作業が始まった。池の底樋付近には、大きなフナ・鯉・ブラックバスが浮かび、その間を小魚(ブルーギル・ブラックバス。小雑魚等)が群れをなして泳ぎ、堤防沿いの岩陰にはザリガニ! がいました。作業は浮かんでいる魚達の生死を分ける作業から始まり、選別、駆除へと続きます。浮かんでいる魚達の生死を分ける作業では、死んでいるように見えても取り上げてみると急に動きだし、池の水が跳ね上がり大変なことに。顔も服も泥まみれになりながらの作業は捕っても取っても続き…大変!! でした。



太子中学校の生徒さん達の参加で作業は急速に進み、南河内自然と子どもネットワークの子ども達も加わり、ますます活気づき池が賑やかな雰囲気になりました。残った水たまりに生きている外来魚を駆除する作業では、泥の中で動けなくなった人が続出。カゴや竹竿につかまって脱出成功。

池の底が深い泥状のため進むことができず、全体に炭酸カルシウム(運動場に引く白線と同じもの)を散布できなかつたことが心配…。後はお天気に恵まれ、池に残った水が無くなることに期待。



普段交流のない小学生・中学生達との作業は楽しく、魚の名前もよく知っていてビックリ!!

新池 池干し後の生息生物の調査 2016、5/3 5/5

外来魚が完全に駆除されているかの調査を実施。

- 5/3 9:00 池の左側沿い10箇所にトラップを設置。
- 12:00 トラップの回収。
- ザリガニ3匹…? 以外の生物は? 5/5に再度調査。
- 5/5 9:00 3日より少し奥に仕掛ける。
- 12:00 回収
- また、ザリガニばかり!! ザリガニ以外の魚達は?

